

第1 総括事項（公益目的事業）

公社は、愛知県内における上下水道施設及び排水施設等社会インフラの適正かつ効率的な運営管理等を行うとともに、そこで得た知識及び技術を社会に積極的に移転、拡大して、県内の環境保全と公衆衛生の向上及び災害の防止を図り、もって地域の健全な発展に寄与することを目的として活動しました。

第2 庶務に関する事項

1 評議員会及び理事会の開催

開催年月日 開催内容	審議事項		議決内容
令和5年4月1日(土) 第52回理事会 決議の省略による	提案事項1 提案事項2 提案事項3 提案事項4	常務理事の選定について 重要な使用人の選任について 第43回評議員会の招集について 職員の給与及び旅費に関する規程の一部改正について	原案どおり同意 原案どおり同意 原案どおり同意 原案どおり同意
令和5年4月13日(木) 第43回評議員会 決議の省略による	提案事項	役員及び評議員の報酬額の決定について	原案どおり同意
令和5年5月30日(火) 第53回理事会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 報告事項	令和4年度事業報告について 令和4年度決算について 第44回評議員会の目的である事項に係る議案(役員の選任)について 第44回評議員会の招集について 職務執行状況について	原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり了承
令和5年6月27日(火) 第44回評議員会	第1号議案 第2号議案 ～第14号議案 報告事項	令和4年度決算について 役員の選任について 令和4年度事業報告について	原案どおり承認 原案どおり可決 原案どおり了承
令和5年6月27日(火) 第54回理事会 決議の省略による	提案事項1 提案事項2 提案事項3	理事長の選定について 常務理事の選定について 重要な使用人の選任について	原案どおり同意 原案どおり同意 原案どおり同意
令和6年1月18日(木) 第55回理事会 決議の省略による	提案事項	評議員会の招集について	原案どおり同意
令和6年2月8日(木) 第45回評議員会 決議の省略による	提案事項	役員の報酬額の改定について	原案どおり同意

<p>令和6年3月27日(水) 第56回理事会</p>	<p>第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 報告事項</p>	<p>令和6年度事業計画について 令和6年度収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて 職員の給与及び旅費に関する規程の一部改正について 第46回評議員会の目的である事項に係る議案(評議員、理事の補欠選任及び理事の選任)について 第46回評議員会の招集について 職務執行状況について</p>	<p>原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり了承</p>
<p>令和6年3月27日(水) 第46回評議員会</p>	<p>第1号議案～ 第7号議案 第8号議案～ 第12号議案 第13号議案 報告事項1 報告事項2</p>	<p>評議員の辞任に伴う補欠選任について 理事の辞任に伴う補欠選任について 理事の選任について 令和6年度事業計画について 令和6年度収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて</p>	<p>原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり了承 原案どおり了承</p>

2 評議員の異動

異動年月日	評議員名	氏名	摘要
令和5年4月1日	評議員	松澤 耕	就任
	評議員	高橋 純司	就任
	評議員	外山 伸一	就任
	評議員	田中 統	就任
令和6年3月31日	評議員	阪野 芳彦	辞任
	評議員	松澤 耕	辞任
	評議員	多和田雅也	辞任
	評議員	大松 季也	辞任
	評議員	高橋 純司	辞任
	評議員	外山 伸一	辞任
	評議員	水野 隆	辞任

3 理事の異動

異動年月日	役員名	氏名	摘要
令和5年4月1日	理事	水谷 隆一	就任
	理事	高林 茂宏	就任
	理事	黒柳 慎一	就任
令和6年3月31日	代表理事	藤戸 聡	辞任
	理事	水谷 隆一	辞任
	理事	長谷川勝正	辞任
	理事	磯部 悟嗣	辞任
	理事	片岡 和浩	辞任
	理事	丹羽 信之	辞任

4 監査の実施

実施年月日等	事項	摘要
毎月	例月監査	監事 菅沼 利元
四半期	四半期監査	監事 菅沼 利元 倉本 繁八
令和5年5月24日	令和4年度事業報告について 令和4年度決算報告について	監事 菅沼 利元 倉本 繁八

第3 令和5年度事業実績の概要

1 下水道部の事業

(1) 流域下水道施設に関する技術等を活用した事業

ア 流域下水道運営管理

愛知県が設置した11流域下水道（豊川、五条川左岸、境川、衣浦西部、矢作川、衣浦東部、日光川上流、五条川右岸、新川東部、日光川下流及び新川西部）について、指定管理者として、適正な運営管理事業を実施し、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図りました。

アセットマネジメントシステム（ISO 55001）を全流域下水道で運用して、業務の改善に意欲的に取り組みました。また、組織のマネジメントシステムの有効性を確認するため、認証済み範囲を対象とする認証機関による更新審査（3年ごと）を受け、有効性を認められました。

(ア) 水処理業務

各市町より流入する下水を適切に処理し、良好な処理水質を確保するため以下の業務を実施しました。

- a 汚水ポンプ、最初沈殿池、反応槽、最終沈殿池、薬品混和池、ブロワなど各設備の運転操作、監視、点検、調整及び修繕を行いました。
- b 汚水の各処理段階での状況確認や調査分析結果などを基に、コスト低減及び、省エネルギー等に考慮した処理計画を立案し、運転管理を行いました。また、流入水の水質や水量の変動に対して迅速な状況判断による運転操作を行い、適切な処理を実施しました。

特に、「水質保全と『豊かな海』の両立に向けた社会実験」の2年度目として、緩和された総量規制基準のもと、豊川及び矢作川の2浄化センターにおいて、令和5年9月1日から令和6年3月31日まで窒素とリンの管理運転を実施しました。また、日光川下流浄化センターにおいても、社会実験と同期間にリン濃度を増加させる管理運転を実施しました。

- c 放流水質については、各種の分析試験及び測定を行い、法令等の基準の遵守を確認しました。

(イ) 汚泥処理業務

水処理の過程で発生した汚泥の適切な処理処分を行う為、以下の業務を実施しました。

- a 濃縮槽、脱水機、汚泥焼却設備など各設備の運転操作、監視、点検、調整及び修繕を行いました。
- b 発生した汚泥について成分等の分析を行い、処理処分に対する法令等の基準の遵守を確認しました。
- c 汚泥の有効利用として、民間企業によりセメントや肥料等の原料として利用しました。

また、焼却炉等の汚泥減量化施設（管理外施設を含む）の故障に伴う処理停止に対応するため、共同汚泥処理体制により施設能力を最大限に活用することや、民間企業との調整により有効利用の処理量を増加させることにより、安定的な処理処分を行いました。

(ウ) 計測点監視業務

計測点における水量、水質についてテレメータによる常時監視と定期巡回を実施し、流量の測定、悪質下水の監視及び流入防止に必要な措置を講じました。

令和5年度流入水量（計画及び実績）

浄化センター	流入水量（千m ³ /年）	
	計画量	実績量
豊川浄化センター	27,782	※29,508
五条川左岸浄化センター	28,124	27,196
境川浄化センター	63,763	61,595
衣浦西部浄化センター	21,759	21,072
矢作川浄化センター	87,412	84,318
衣浦東部浄化センター	10,317	10,121
日光川上流浄化センター	15,365	15,331
五条川右岸浄化センター	10,847	10,131
新川東部浄化センター	4,468	4,401
日光川下流浄化センター	8,276	7,974
新川西部浄化センター	1,562	1,422
合計	279,675	273,069

※：6/2の大雨により一部計測点が水没し、以降流量データが欠測したため、4,5月は計測点流量の実測値、6～3月は放流流量を採用し、流入水量とした。

イ 汚水及び汚泥の処理方法の調査研究

効率的な維持管理やコスト縮減のため、次に掲げる調査研究を行いました。

- ・栄養塩管理運転に関する調査研究
- ・スクリーンプレス脱水機への汚泥供給に関する調査

（2）下水道に関する技術及び知識の普及・啓発、技術支援事業

ア 下水道知識等の普及啓発活動

県民に下水道に関する理解と関心を深めてもらい、下水道の適正利用を促すため、次に掲げる普及啓発活動を行いました。

時期	実施場所	イベント	啓発対象者(参加者数)
年間	各浄化センター	処理場見学	主に小学生(5,810名)
7,8月	各浄化センター	夏休み親子下水道教室	小学生と保護者(455名)
7月	東海学園大学	特別講義	東海学園大学学生(82名)
年間	小学校	下水道出前講座(県への協力)	小学生(15校 1,193名)
年間	県内各所	普及啓発イベント(県への協力)	イベント等来場者

イ 下水道科学館の運営管理

下水道の普及啓発を行うため、指定管理者として、アクティオ（株）との共同体にて、愛知県下水道科学館（メタウォーター下水道科学館あいち）の運営管理業務を実施しました。

項目	来場者数	来館団体数	利用者満足度
目標	90,000人以上	400団体以上	80点以上
実績	92,426人	438団体	87点

ウ 下水道研究報告会・下水道技術講習会の開催等

県内自治体等の下水道関係者の知識向上のために、次に掲げる講習会等の開催及び研修への講師派遣を行いました。

時期	実施事項	対象者及び対象地域（参加者等）
7月18日	下水道研究報告会 県講演1件、県発表2件 県内自治体発表1件 公社発表3件	県内自治体等の下水道関係者 (108名)
8月29日	下水道技術研修会 水処理、汚泥処理の仕組み 事業所排水と処理場排水規制	流域関連市町の下水道関係職員 (38名)
12月7日	下水道技術講習会 「豊かな海の実現を目指して」 愛知県水産試験場漁場環境研究部 部長 石田 俊朗 氏 「効果的かつ効率的な雨天時浸入 水調査技術等について」 (公財)日本下水道新技術機構 研究第一部兼企画部 副部長 端谷 研治 氏	県内自治体等の下水道関係者 (78名)
6, 11月 R6/1月	技術技能研修への講師派遣 (中部地方下水道協会主催)	中部地方下水道協会会員ほか (講師6名派遣)

エ 自治体下水道事業への技術支援事業

県内自治体の抱える課題を解決するため、次に掲げる業務を受託し、技術的な支援を行いました。

業務名	委託者	業務内容
矢作川流域下水道事業の内工事監督支援業務委託（機械・電気設備工事）	愛知県	県発注機械、電気設備工事の監督支援
合流改善水質検査業務	刈谷市	合流改善調査に伴う水質試験
東海総合事務所管内における維持管理に係る技術援助業務等支援・協力業務委託	日本下水道事業団	日本下水道事業団が行う県内自治体（尾張旭市、長久手市、東海市、田原市）への技術援助の支援協力

2 水道緑地部の事業

(1) 水道施設等運営管理事業

県営水道用水供給事業の施設及び工業用水道事業の水源及び水道施設に関連する業務を実施しました。

ア 機器点検・測定業務

浄水場等の水質計器、無停電電源装置及び電食防止設備の点検・測定を実施しました。

	設 備	内 訳	設 置 施 設
点検 (1,379台)	水 質 計 器 (499台)	濁度計 117 台、PH 計 147 台 残塩計 140 台、その他 95 台	高蔵寺浄水場 始め 76 施設
	無停電電源装置 (463台)	充電装置 202 台、蓄電池 202 台 インバータ 59 台	高蔵寺浄水場 始め 141 施設
	電 食 防 止 設 備 (417基)	整流器 340 基、排流器 30 基 ボンド 47 基	管路 997km
測 定	電 食 防 止 設 備 (2,880箇所)	管対地電位 2,658 箇所 陽極発生電流 222 箇所	

イ 佐布里水源の森関連業務

佐布里池周辺の樹木管理等の環境整備を実施しました。

業 務 内 容	数 量	内 訳
草刈・寄植剪定・伐竹	169,757 m ²	草刈 162,244 m ² 、寄植剪定 4,108 m ² 伐竹 3,405 m ²
樹木剪定・植栽撤去	267 本	樹木剪定 246 本、植栽撤去 21 本
希少植物保全管理	1 式	
ダム周辺清掃	1 式	
水の生活館受付・清掃	1 式	

ウ 応急給水支援活動

令和6年能登半島地震災害活動に対する応急給水支援活動を実施しました。

応急給水派遣期間	応急給水場所	派遣人数
令和6年3月5日(火)～3月9日(土)	七尾市	1人
令和6年3月9日(土)～3月13日(水)	七尾市	1人
令和6年3月17日(日)～3月21日(木)	七尾市	1人
令和6年3月21日(木)～3月25日(月)	七尾市	1人

(2) 排水機場等運営管理事業

日光川排水機場始め6排水機場及び日光川水閘門の、運転操作及び点検整備の業務を実施しました。

区 分		増水運転 操作回数		増水運転 時間	管理運転 操作回数	
日光川排水機場		444 回	21 回	115 時間	200 回	43 回
日光川河口排水機場			14 回	66 時間		32 回
筏川排水機場			294 回	953 時間		0 回
蟹江川排水機場			103 回	180 時間		19 回
西中野排水機場			6 回	9 時間		58 回
尾西排水機場			6 回	6 時間		48 回
日光川	水 門	2,264 回	398 回			
水閘門	閘 門		1,866 回			

(3) 上記の(1)、(2)の事業に関する技術及び知識の普及・啓発に関する事業

ア 水道知識の普及

市町水道職員等への水道知識の普及を目的とした、講演会及び研修を開催しました。なお、6月の講演会については、日本水道協会愛知県支部総会の急遽開催中止を受け、併せて開催中止としました。

催 行	開催日	内 容	参加者	
講演会	6月2日 【中止】	「水道事業の現在位置と将来 第四世代の創生へ」 独立行政法人 水資源機構 理事 熊谷 和哉氏	—	
	8月4日	「水質管理の最近の動向」 厚生労働省 医薬・生活衛生局 水道課 水道水質管理室 室長補佐 渡邊 怜子氏	市町の水道職員等 103名	
電気防食 研修	6月8日	電気防食等についての講義、 施設点検見学及び実習	県企業庁の職員 10名	
水道技術 基礎研修	10月25日	水道一般、水処理及び水質管 理、送配水管理等についての 講義及び実習	市町若手	20名
	10月26日		水道職員	26名

イ 水道に関する啓発

水の大切さや水源保全について理解と関心を深めていただく目的で、県等関係機関と連携して、啓発活動を行いました。なお、10月の水源保全PR活動については、主催者の判断により中止されています。

イベント名	実施日	実施場所	啓発対象者
水道週間等 PR 活動	R5.5.3、5.29～6.1	県内 5 箇所	来場者及び通勤・通学客
水源保全 PR 活動	R5.10【中止】	豊田市	清掃活動に参加した地域住民
佐布里池梅まつり	R6.3.2	知多市	水の生活館来館者

ウ 水害に関する啓発

排水機場等の見学者、視察者に対し、排水機場及び水閘門が果たす役割や水害に対する意識を高めていただくために、県が実施する啓発活動に協力しました。(72 団体, 見学者数 1,003 人)